## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 2001309069 A

(43) Date of publication of application: 02.11.01

(51) Int. CI

H04M 11/00

G08C 17/00

G08C 19/00

H04B 7/24

H04Q 9/00

(21) Application number: 2000125128

(71) Applicant:

RICOH ELEMEX CORP

(22) Date of filing: 26.04.00

(72) Inventor:

**ONO KIYOJI** 

## (54) RADIO METER READ SYSTEM TO BE STARTED **BY PAGER**

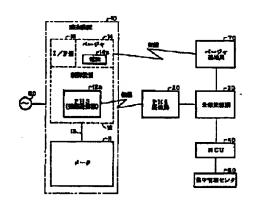
(57) Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To reduce power consumption of a radio communication equipment to be used for a system for performing concentrated radio meter reading between a concentrated managing center and each gas meter, etc., through a radio line.

SOLUTION: Normally, the power source of the battery 14a of a pager 14 is kept on and the battery of the radio communication equipment 12a is kept off. When receiving a call on the pager 14 called from the concentrated managing center 50, a controller 12 turns on the power source of the equipment 12a to start and by using the equipment 12a which is turned on, the controller 12 transmits meter read data of a meter 11 to the center 50 through a PHS base station, a public telephone network 30 and an NCU 40 and turns of the power source of the equipment 12a again after completion

of the transmission.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO



## (19)日本国特許庁 (JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公開番号

特期2001-309069

(P2001-309069A)

(43)公開日 平成13年11月2日(2001.11.2)

(51) Int.Cl.7		識別記号		FΙ				7	-7]- *(多考)
H04M	11/00	301		H04	M 11	/00		301	2F073
G08C	17/00			G 0 8	C 19	/00		N	5 K 0 4 8
	19/00			H 0 4	В 7	/24		D	5 K O 6 7
H04B	7/24			H04	Q 9	/00		301A	5 K 1 O 1
H04Q	9/00	301						3 1 1 H	
			審查請求	未請求	請求項	の数 1	OL	(全 5 頁)	最終頁に続く

(21)出願番号

特蘭2000-125128(P2000-125128)

(22)出顧日

平成12年4月26日(2000.4.26)

(71)出顧人 000006932

リコーエレメックス株式会社

名古屋市中区第二丁目 2番13号

(72) 発明者 大野 喜代治

愛知県名古屋市中区第二丁目2番13号リコ

ーエレメックス株式会社内

(74)代理人 100079843

弁理士 高野 明近 (外2名)

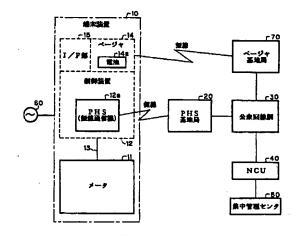
最終頁に続く

## (54) 【発明の名称】 ベージャにより起動する無線検針システム

## (57)【要約】

【課題】 無線回線を介して集中管理センタと各ガスメータ等との間で無線集中検針を行うシステムに用いられる無線通信機の電力消費を低減する。

【解決手段】 通常は、ページャ14の電池14aの電源はオンに、無線通信機12aの電源はオフにしておく。制御装置12は、集中管理センタ50から呼び出されたページャ14からの呼び出しを受けると、無線通信機12aを電源オンにして起動し、該電源オンされた無線通信機12aを用いて、メータ11の検針データをPHS基地局20、公衆回線網30、NCU40を介して集中管理センタ50へ送信し、該送信の完了後再び無線通信機12aの電源をオフにしておくようにする。



#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 集中管理センタと複数の無線通信機とを 無線通信回線を介して接続し、各無線通信機に接続され たメータの検針データを前記集中管理センタにて集中管 理する無線検針システムにおいて、前記複数の無線通信 機は各々ページャを備え、酸ページャを呼び出すことに よって前記管理センタから所望の無線通信機の電源を投 入、起動し、メータの検針データを収集することによ り、前記無線通信機は、無線検針時以外は電源オフにし 針システム。

1

#### 【発明の詳細な説明】

#### [0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、無線検針システ ム、より詳細には、ページャにより起動される無線通信 機を介して集中管理センタと各メータとの間で検針デー タの送受信を行うシステムに関する。

#### [0002]

【従来の技術】ガス、水道、電力等の使用量を示す各種 のメータの検針を行う業務においては、例えば、検針の 20 ための作業員がメータを巡回し、目視による検針を行っ たり、または作業員がハンディターミナルを用いてメー タ検針値の読み出しを行う方法が実行されている。また 上記のような作業員の巡回を合理化するために、電話回 線等の有線による通信手段を用いて、集中管理センタと 各メータとの間で通信を行う方法についても種々のシス テム構成が知られている。

【0003】一方、このような検針システムをさらに合 理化し、かつ設置環境の制限を受けないようにするため システムが開発されている。

【0004】図2は、上記のような従来の無線検針シス テムの例を説明するための概念図である。図中、10は 端末装置、11はメータ、12は制御装置、12aは無 線通信機、13はメータ線、20はPHS基地局、30 は公衆回線網、40はNCU、50は集中管理センタ、 60はAC100V電源である。集中管理センタ50 は、複数の端末装置に公衆回線網30を経由して接続さ れているものとする。以降説明を容易にするために、複 ンタ50とが対向して動作している場合について説明す る。無線通信機12aとしては、例えば、PHS、携帯 電話、衛星電話、GPS等が考えられるが、ここでは無 線通信機としてPHSを用いたシステムを説明する。メ ータ11は、ガス、水道等の流量計測を行い、その計測 に基づく積算値等の検針データを記憶しておく。端末装 置10は、メータ11と、PHSの無線通信機12aを 内蔵する制御装置12とで構成される。

【0005】メータ11と集中管理センタ50とが検針

2とがメータ線13を介して接続され、PHS無線通信 機12aがPHS基地局20と無線にて接続されてい る。PHS基地局20は公衆回線網30、NCU40を 介して集中管理センタ50に接続されている。なお、検 針データとしては、例えば、瞬間流量値や積算値デー タ、メータの管理番号や交換年月日等の管理データ、ガ ス漏れ検知情報等のセキュリティデータ等が考えられ

【0006】メータ11と集中管理センタ50との間で ておくことを特徴とするページャにより起動する無線検 10 データの送受信を行う際には、集中管理センタ50から PHS無線通信機12aの電話番号を呼び出して無線回 線を確立し、制御装置12に対し、メータ11の上述し た検針に必要な現状の検針データの送信要求を行う。該 送信要求を受けた制御装置12は、その確立した無線回 線により、メータ11から収集した現状の検針データを 集中管理センタ50へ送信する。また、ガス漏れ等の異 常時に、制御装置12から、PHS無線通信機12aを 用いて集中管理センタ50を呼び出して接続し、管理デ ータやセキュリティデータ等を送信することもできる。 [0007]

【発明が解決しようとする課題】上述のごとく従来の無 線通信機を用いた無線検針システムは、山間部等の設置 環境が悪い場所においても設置容易なシステムを提供す ることができる。しかしながら、上述のシステムにおい ては、PHS等の無線通信機の電源を常時オンにしてお く必要があるため、電力消費が大きいという問題点があ った。本発明は、上述のどとき実情に鑑みてなされたも ので、無線通信機を介して集中管理センタと各メータと の間でデータ通信を行うことにより、メータの無線集中 に、無線通信機を利用した無線通信方式による無線検針 30 検針を行うシステムにおいて、無線通信機を無線集中検 針時以外は電源オフにしておくことにより、無線通信機 の電力消費を低減することができる無線検針システムを 提供することを目的とする。

## [0008]

【課題を解決するための手段】本発明は、集中管理セン タと複数の無線通信機とを無線通信回線を介して接続 し、各無線通信機に接続されたメータの検針データを前 記管理センタにて集中管理する無線検針システムにおい て、前記無線通信機に接続されたページャを備え、該ペ 数の端末装置のうちの1つの端末装置10と集中管理セ 40 ージャを呼び出すことによって前記管理センタから所望 の無線通信機の電源を投入して該無線通信機を起動さ せ、メータの検針データを収集するようにし、前記無線 通信機は、無線検針時以外は電源オフにしておくことを 特徴としたものである。

### [0009]

【発明の実施の形態】図1は、本発明の無線検針システ ムの一実施例を説明するための概念図である。本図にお いても複数の端末装置のうちの1つの端末装置10と集 中管理センタ50とが対向して動作している場合につい データの送受信を行うために、メータ11と制御装置1 50 て説明する。以下、図1は、上述した図2の従来の無線

検針システムと共通する部分には、同じ符号を付し、そ の説明は省略する。本実施例と図2の従来の無線検針シ ステムの構成との相違点は、端末装置10が、集中管理 センタ50からの呼び出し信号を受信するページャ14 と、制御装置12とページャ14との信号の受け渡しを 行う I / F 部 1 5 とを有する点と、ページャ 1 4 と無線 にて接続されているページャ基地局70を有し、酸ペー ジャ基地局70は公衆回線網30,NCU40を介して 集中管理センタ50に接続されている点である。

【0010】(実施例)次に、図1に示した本発明のペ 10 信した検針データに基づいて検針を行う。 ージャにより起動する無線検針システムの構成例におい て、集中管理センタ50からメータ11に対して検針デ ータの送信要求をする場合の実施例について説明する。 なお、無線通信機12aと公衆回線網30とは、有線で 接続されるようにしてもよい。

【0011】また、本実施例においては、ページャ14 の電池14aの電源は常時オンにしておく。そして、無 線通信機12aの電源は、通常はオフにしておき、ペー ジャ14を介して起動されたときオンにし、検針データ の集中管理センタ50への送信が完了したとき再びオフ 20 にするようにする。

【0012】まず、集中管理センタ50から必要とする 端末装置のページャ14の呼び出し番号をダイヤルす る。ページャ基地局70より所定のページャ14の呼び 出し電波が発信され、該電波を所定の端末装置のページ ャ14が受信し、呼び出し音を発生する。 I/F部15 はページャ14の呼び出し音を電気信号に変換し、その 周波数が何ヘルツであるか及びその繰り返し周期が何秒 であるかを識別し、ページャ14の呼び出し音と認識す ると集中管理センタ50からの呼び出し信号として制御 装置12に出力する。該制御装置12はI/F部15を 介してページャ14からの呼び出しを受けると無線通信 機12aを電源オンにして起動し、メータ11の現状の 検針データを、PHS基地局20、公衆回線網30、N CU40を介して集中管理センタ50に送信する。該送 信が完了すると、制御装置12は、無線通信機12aを 再び電源オフの状態にする。集中管理センタ50は、受

## [0013]

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明 によれば、無線通信機の電源は通常はオフにしておき、 ページャからの呼び出しがあったときだけオンにし、無 線集中検針完了後、再びオフにするようにしたため、無 線通信機の電力消費を低減することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

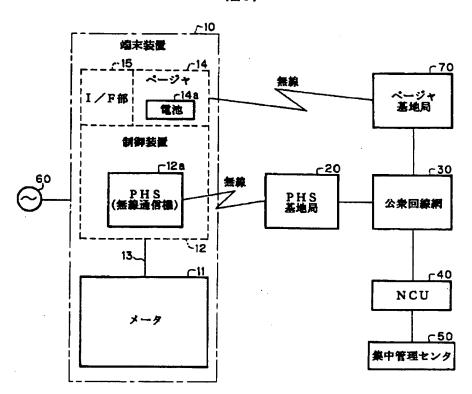
【図1】 本発明のページャにより起動する無線検針シ ステムの構成例を説明するための概念図である。

【図2】 従来の無線検針システムの構成例を説明する ための概念図である。

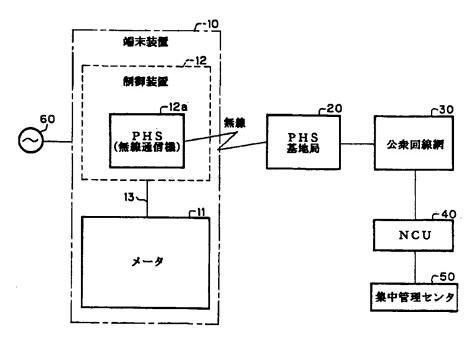
#### 【符号の説明】

10…端末装置、11…メータ、12…制御装置、12 a…無線通信機、13…メータ線、14…ページャ、1 4 a ···電池、15 ··· I / F 部、20 ··· P H S 基地局、3 0…公衆回線網、40…NCU、50…集中管理セン タ、60…AC100V電源、70…ページャ基地局。

[図1]



【図2】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.'

識別記号

FΙ

テーマコード(参考)

H O 4 Q 9/00

311

G08C 17/00

Z

Fターム(参考) 2F073 AA07 AA08 AB01 BB01 BB04

BB07 BC01 BC02 CC03 CC08

CC11 CD00 DD07 DE02 DE07

EE11 EF09 FF01 FG01 FG02

GG01

5K048 AA16 BA36 DB01 DC01 EB02

EB10 HA01 HA02

5K067 AA43 BB22 BB27 DD13 DD27

EE02 EE10 EE16 FF19 HH07

KK05

5K101 KK12 LL11